

経営比較分析表（令和3年度決算）

島根県 出雲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.22	100.00	3,352

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
174,693	624.32	279.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
392	0.08	4,900.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、特定地域排水処理事業とあわせ、浄化槽設置事業会計として実施している。

経営状況は、公共下水道との負担の公平性の観点から、使用料体系が同一となっており、使用料収入等の自主財源で維持管理経費を賄うことができず、市債償還額の不足分とあわせ、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況である。

①収益の収支比率 前年度に比べ、総収益、総費用、地方債償還金いずれも増加したが、収益の増加率が、総費用及び地方債償還金の合計の増加率を上回り、前年度より0.16ポイント増加した。

④企業債残高対事業規模比率 企業債残高を一般会計繰入金で全額負担していることから、比率は0%となった。

⑤経費回収率 汚水処理費が増加した一方で使用料収入が減少したことから、4.78ポイント減少した。

⑥汚水処理原価 汚水処理費の増加に対して、有収水量が減少したことから、23.04円の増額となった。

⑦施設利用率 前年度より1.54ポイント減少した。

⑧水洗化率 前年度に比べ、水洗便所設置済人口及び処理区内人口いずれも減少したが、水洗便所設置済人口の減少率の方が大きかったため、前年度より、0.04ポイント減少した。

2. 老朽化の状況について

本事業は、平成11年度から実施した事業であり、法定耐用年数を経過する施設はなく、主にプロアポンプ等の機器類について、老朽化の状況に応じた修繕を行っている。

今後も適正な維持管理に努めるとともに、老朽化の進行や更新期の到来に備え、長寿命化、更新の方法について、検討を行う必要がある。

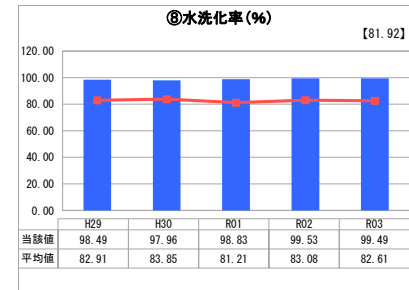
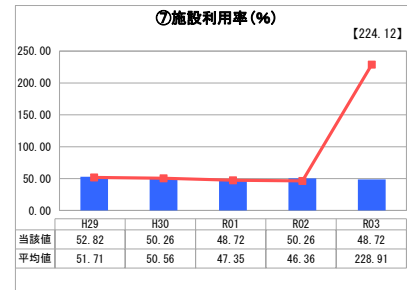
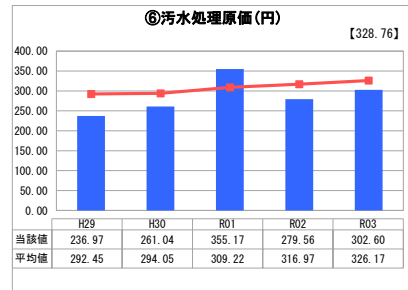
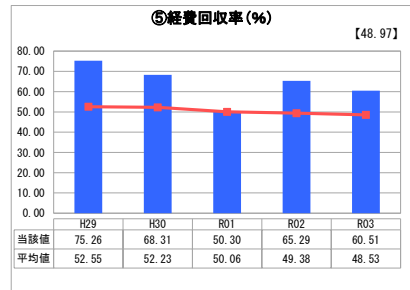
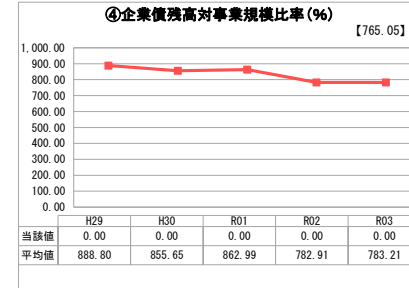
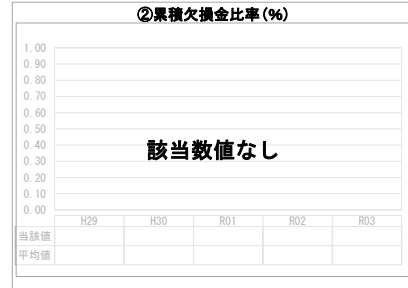
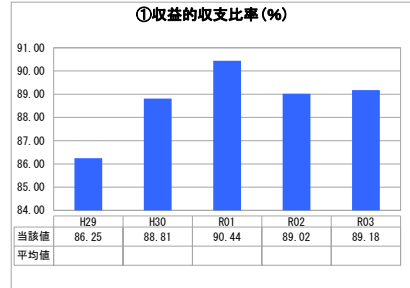
全体総括

本事業は、新規の浄化槽設置を終了していることから、今後は、施設の適正な管理運営を実施していく必要がある。

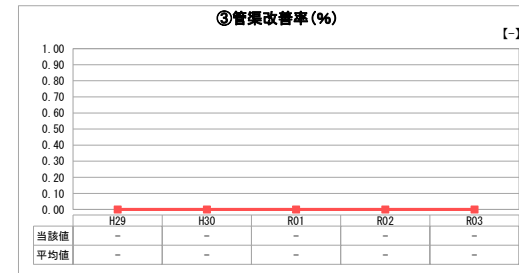
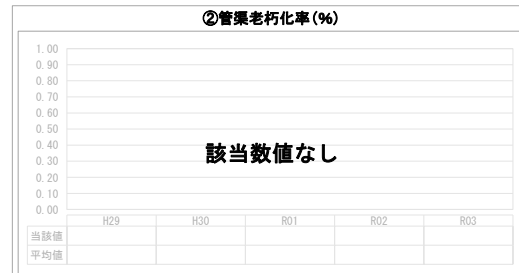
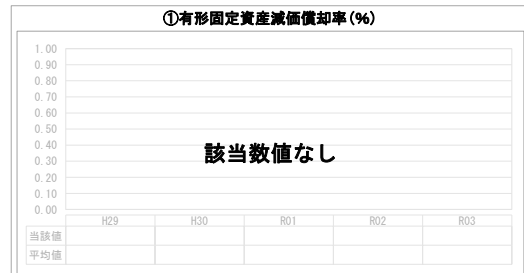
令和3年度は、汚水処理費が増加した一方で使用料収入が減少したことから、経費回収率が前年度より減少した。他方で、汚水処理費の増加に対して有収水量が減少したことから、汚水処理原価は前年度より増加した。

今後とも、施設の適正な維持管理に努める一方で、引き続き経費の削減に努め、経営の改善を図っていく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。